

社会資本総合整備計画の事後評価報告シート

ひろがわちょう
(ひろがわ町におけるりょうこう良好なせい生活環境及びぼうさい防災環境のけいせい形成(第2期))

広川町

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年04月22日

計画の名称	広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成（第2期）													
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	広川町													
計画の目標	狭あい道路の解消により、緊急車両の通行や地域住民の交通安全対策をし良好な生活環境を形成する。また今後予想される大地震や豪雨による大規模災害に備えた避難道路としての機能向上を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		262	A	262	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	狭あい道路の整備により、狭あい道路接道住宅の減少。（生活・防災環境改善） 整備する狭あい道路接道住宅数を計画期間内で0軒にする	36軒	軒	0軒

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	広川町	直接	広川町	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域	広川町						262		-
												小計					262		
											合計						262		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
広川町において評価を実施	令和2年4月21日
	公表の方法
	広川町役場産業建設課窓口での閲覧、広川町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本計画での成果として、狭あい道路隣接住宅数が6軒まで減少した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	本計画による狭あい道路解消路線において、整備後に新築住宅が建築されるなど、この事業の効果が表れている。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き狭あい路線の解消を図ることにより交通環境を整え、災害時等の緊急車両の通行をスムーズに行えるなど、住民が安全・安心を実感できる居住環境の向上を目指した施策を行う。この施策により、住民の定住促進を図り、生活基盤の充実したまちづくりを行う。第2期計画において整備が完了していない上中野尾山地区についても第3期計画で引き続き実施していく。	

(参考図面)位置図

計画の名称	1 広川町における良好な生活環境及び防災環境の形成(第2期)		
計画の期間	平成26年度～平成30年度 (5年間)	交付対象	広川町

